【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公開番号】特開2006-303473(P2006-303473A)
【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-043
【出願番号】特願2006-79970(P2006-79970)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　33/28　(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　33/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　33/22　Ｃ
Ｈ０５Ｂ　33/28
Ｈ０５Ｂ　33/10
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月6日(2009.2.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一対の電極間に、第１の発光物質を含む層と、第２の発光物質を含む層と、前記第１の発光物質を含む層と前記第２の発光物質を含む層との間にキャリア発生層を有し、
前記キャリア発生層は、無機化合物である導電性材料と無機化合物である絶縁性材料とを含む混合材料を含む層とを有し、
前記混合材料を含む層は、抵抗率が５×１０^{4}～１×１０^{6}Ω・ｃｍであることを特徴とする発光素子。
【請求項２】
請求項１において、前記混合材料を含む層は、可視光の透過率が８０～１００％であることを特徴とする発光素子。
【請求項３】
請求項１または請求項２において、前記絶縁性材料は、金属酸化物、金属窒化物、金属酸化窒化物のいずれかであることを特徴とする発光素子。
【請求項４】
請求項１または請求項２において、前記絶縁性材料は、酸化珪素、酸化ゲルマニウム、酸化ガリウム、酸化チタン、酸化モリブデン、酸化アルミニウム、窒化珪素、窒化アルミニウム、酸化窒化珪素のいずれかであることを特徴とする発光素子。
【請求項５】
請求項１乃至請求項４のいずれか一項において、前記導電性材料は、透明導電膜材料であることを特徴する発光素子。
【請求項６】
請求項１乃至請求項４のいずれか一項において、前記導電性材料は、酸化インジウム、酸化亜鉛、酸化錫、酸化カドミウム、酸化ガリウムのいずれかを含むことを特徴とする発光素子。

【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一項に記載の発光素子と、前記発光素子の発光を制御する制御手段とを有する発光装置。
【請求項８】
請求項１乃至請求項６のいずれか一項に記載の発光素子を有する電気器具。